

県西教育事務所だより

未来に向かって 高い志を持ち たくましく生きぬく 人づくり
「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 平成30年12月12日発行（第8号）

「特別の教科 道徳」における具体的な評価記述での留意点

来年度からは、中学校においても「特別の教科 道徳」の検定教科書が配布されます。小学校では、今年度から検定教科書を用いた授業が行われているところですが、記述による評価をすすめていく際の留意点を以下にまとめましたので、改めてご確認ください。

□ 学習の中で見られる様子を記述する

- 記述は道徳科の授業の中で見られた発言や記述を基に行います。日常生活や学級生活での子供の様子や変化に関する記述とならないように配慮します。

□ 各教科の記述内容との区別をする

- 子供の言語能力（国語）、社会認識（社会）などのような、各教科でのコメントとならないようにします。例えば「登場人物の気持ちを理解し、心をこめて会話文を読むことができました。」といった記述にならないよう留意しましょう。つまり、道徳的な見方や生き方などに着眼するようにします。

□ 子供のプラス面や成長の姿を記述する

（平成30年3月 茨城県教育委員会『特別の教科 道徳』全面実施に向けて2』より）

平成31年度「全国学力・学習状況調査【英語】」に向けて -平成31年4月18日(木)実施-

各中学校及び義務教育学校においては、茨城県教育庁学校教育部義務教育課指導担当課長補佐より「平成30年度全国学力・学習状況調査【英語予備調査】問題の活用について」の事務連絡（平成30年9月27日付け）に併せて送付された資料（「予備調査問題」）をご活用いただいていることと思います。引き続き、その結果を踏まえた授業改善をお願いいたします。

なお、現在、こちらの【英語予備調査】問題の活用状況について確認させていただいているところですが、ご協力をお願いいたします。

併せて、各PCの性能やOS（基本ソフトウェア）の確認、セキュリティ環境や環境復元ソフト等の確認等を、設置管理者と連携を図り進めていただきますようお願いいたします。（文部科学省内の以下のサイトにおいて、PC環境の確認事項について詳しい内容がご覧になれます。）

文部科学省 > 教育 > 小学校、中学校、高等学校 > 全国的な学力調査（全国学力・学習状況調査等）> 調査実施 > 平成31年度の調査実施 > 平成31年度全国学力・学習状況調査 中学校英語「話すこと」調査に向けて

【今後の予定】

平成30年12月「平成31年度全国学力・学習状況調査に関する実施要項」の公表

平成31年1月「事前検証ツール」のダウンロードが可能になる予定（必ず事前検証を行ってください）

「いじめストップ！絆づくりプロジェクト推進モデル学区」 絆づくりフォーラムの開催！

11月2日（金）、7日（水）、8日（木）に筑西市立関城中学校区（関城中、関城東小、関城西小）において「いじめストップ！絆づくりプロジェクト事業」の一環として、「絆づくりフォーラム」が開催されました。「自分たちの力で、いじめをなくし、絆を深めよう」を学区共通のテーマにし、パネルディスカッションやいじめに関するロールプレイ、友達づくりゲーム等の活動を通して、いじめ撲滅に向けた活発な意見交換をすることができました。また、スクールロイヤー（弁護士）の「事例をもとにした話」は、人権を守ることの大切さについて考える機会となりました。推進委員会が中心となり、児童生徒主体のフォーラムを開催したことで、一人一人がいじめに対する意識をより高める機会となりました。

☆3校合同作成のイメージキャラクター☆
「ストップさん」と「絆さん」



【パネルディスカッションの様子】



【イメージキャラクター登場】

“創意にあふれた特色ある指導”を表彰

11月9日（金）、県西教育事務所において、優秀教職員の表彰式を開催しました。県教育委員会では、様々な教育活動において、創意にあふれた特色ある指導を行うとともに、人格・見識ともに優れ、他の教員の模範となる教職員を「優秀教職員」として表彰しています。

県西地区の小・中学校からは、次の4名の先生方が優秀教職員『TOT「ティーチャー オブ ティーチャー」表彰1名、優秀教職員表彰3名』として表彰されました。

（敬称略、右写真栗原所長の隣りから）

学校名	職名	氏名	表彰内容
筑西市立下館南中学校	教諭	三國 智子	（TOT表彰）学習指導
結城市立結城西小学校	教諭	石川 恭子	特別支援教育
桜川市立岩瀬西中学校	教諭	中澤 吉巳	学習指導
桜川市立桃山学園	教諭	小林 良久	学習指導

各学校においては、優秀教職員に選ばれた先生方を研修会の講師に招くなど、その指導力や経験等を教育の充実のために生かしていきましょう。



～中村史佳 教諭(古河市立古河第二中学校)の実践～

古河市立古河第二中学校では、学校教育目標を「めあてを持ち 鍛え 高め合う生徒の育成」とし、日々の教育活動に取り組んでいます。中村史佳教諭は、表したいイメージを伝え合う対話活動や多様な用具を用いた体験活動の工夫を通して、自分なりのイメージをもち、工夫して表現する力の育成を目指し指導にあたっています。

【実践例】1年生の絵画制作の過程の中で、下記のような描画材の体験活動を位置付けることで、実感を伴って色彩の組合せや表し方の美しさなどを理解できるようにする。
 学習課題：色彩や描画材、表し方を工夫して、〇〇な季節を描こう。
 ねらい：〇〇な季節を描く体験活動を通して、色彩の組合せや多様な描画材による表し方の感じの違いを見つけ、本制作で活用できるようにする。

【一手間一工夫のポイント】 ～イメージをもち、工夫して表す力を育むための授業のポイント～

① **主題を生み出す工夫**
イメージワードの提示
 生徒が表したいイメージをもつためには、具体的な主題を生み出せるように工夫することが大切である。単に、「表したい季節を描いてみましょう」ではなく、「**どんな季節を表したいのか**」「**どんな**」の部分を考えることが、表したい具体的な形や色彩、表し方などに結び付けていく。そのための主題を生み出す引き出しとして、イメージワードを提示する。

② **イメージを確かめる工夫**
表したいイメージを伝え合う対話活動
 表現活動に入る前に、本時で表したいイメージについて、形や色彩、光などの【共通事項】を視点に**グループで伝え合う対話活動**を行う。具体的には、「どの部分を、どんな色合いで、どの用具を使って、どんなふうに表示したいか」を伝え合う。

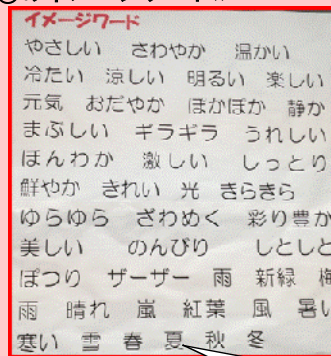
③ **工夫して表すための工夫**
描画材セットの準備
 描画材セットとして、「歯ブラシ、割り箸ペン、たんぼ、新聞紙、段ボール、スポンジ」をグループごとに用意する。**多様な描画材を準備**することで、筆で表現するだけでなく、表現意図に応じて工夫して表せるようにする。また、描画材は、身近なものを活用し、生活の中で楽しく造形活動に取り組めることを感じ取れるようにする。

④ **表したいイメージを広げたり深めたりする工夫**
ミニ鑑賞会の設定
 毎時間のまとめの段階に、短い時間で【共通事項】を視点に**自他の作品を自由に鑑賞し合うミニ鑑賞会**を設定する。友人の表現のよさや美しさを感じ取り、自分の表したいイメージを広げたり深めたりする。同時に、次時への意欲を喚起する場としてつなげる。

【中村教諭から】

生徒一人一人が、自分なりのイメージをもち、その実現に向けて工夫して表せるように、どの題材においても、題材に応じた上記の①～④の一手間一工夫を考えるようにしています。そうすることで、さらに生徒たちは、「〇〇を使ってもよいですか」、「△△でこんなこともできました」、「どうすれば□□を表せるだろう」と新たな発想をしたり発見をしたり、思考を巡らせたりしながら、創造活動の喜びを味わっていきます。
 これからも、生徒の感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培えるよう授業の工夫をしていきたいです。

《①のイメージワード》



(例)「さわやかな風が吹く夏」なのか「ギラギラとした暑い夏」なのか、主題を明確にしていく。

《②の実践の様子》



今日は、段ボールを使って、オレンジや黄色で勢よくぬって、真夏の風を表したいです。

《③の描画材セット》



- ・歯ブラシ
- ・割り箸ペン
- ・たんぼ
- ・新聞紙
- ・段ボール
- ・スポンジ

【人事課からのお知らせ】

- 働き方改革の一層の推進** [11月21日(水)開催, 第2回管理職研修会のグループ協議から]
 - 意識改革の必要性**
 - 常識にとらわれない思い切った改革(学校・地域の実態に合わせて無理なく実施)**
 - ・半日のみの運動会開催, 植物のプランター栽培廃止, 家庭訪問の廃止, 週2日の部活動休養日の徹底, 指導案・研究紀要等の簡素化, 学校行事の統廃合 等
- 服務規律の確保と学校事故防止** [特に注意すべき点]
 - 飲酒運転防止の徹底(忘年会等, 飲酒の機会の多い時期)**
 - ・飲酒による2次的事故(パワハラ・セクハラ等)についても注意!
 (「酔っていてよく覚えていない」は通用しません!)
 - 速度超過防止の徹底**
 - ・「速度超過は命に関わる重大な違反」との認識を!

